

- 問1 ロシア、サウジアラビア、アメリカ合衆国などが主な産出国となっている鉱産資源について、その特徴や歴史的背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 産業革命を支えた主要な動力源であり、主に古期造山帯の周辺で多く産出される固体の燃料である。 | 2. 鉄鋼業の重要な原料として利用されており、主な産出国はオーストラリアやブラジルである。 | 3. 燃焼時の二酸化炭素排出量が他の化石燃料に比べて極めて多いため、近年は世界的に利用が禁止されている。 | 4. 20世紀後半に石炭に代わって主要なエネルギー源となり、火力発電の燃料や自動車の動力などに多用されている。 |
|--|---|--|---|
- 問2 世界の諸地域の区分において、「中央アジア」と呼ばれる地域の位置関係を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. アフリカ大陸の北東部に位置し、地中海と紅海に挟まれた範囲にある | 2. ユーラシア大陸の西端に位置し、東経20度よりも西側の範囲にある | 3. 広大なユーラシア大陸の内陸部に位置し、経度では東経60度よりも東側の範囲にある | 4. 北アメリカ大陸の中央部に位置し、西経100度付近の範囲にある |
|------------------------------------|------------------------------------|--|-----------------------------------|
- 問3 中国の各地域における農業の特色について説明した文として、華北平原や東北地方の状況を正しく述べているものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 比較的少ない降水量と寒冷な気候に合わせ、小麦などの生産を目的とした畑作が広範囲で行われている。 | 2. 年間を通じて高温であるため、広大な平原を利用して茶やさとうきびなどの工芸作物の栽培が中心となっている。 | 3. 外来河川から水を引くことで、乾燥帯特有のオアシス農業が発達し、主にぶどうや綿花の栽培が行われている。 | 4. 温暖多湿な気候を活かし、長江流域と同様に大規模な水田地帯が形成され、米の二期作が行われている。 |
|--|--|---|--|
- 問4 ある統計資料において、2001年と比較した対日輸出額の増加比率が10倍を超え、進出した日本企業数も500社以上増加していることが示されたASEAN加盟国がある。この国の現在の様子を説明したものとして正しいものはどれか。 (2023年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 首都ハノイの近郊には日系の自動車工場があり、南部最大の都市であるホーチミンでは日系のコンビニエンスストアが増加している。 | 2. 世界最大の島嶼国（とうしょこく）として知られ、ジャカルタなどの大都市周辺で天然ガスの採掘と日本への輸出が経済を支えている。 | 3. 首都バンコクを中心に自動車の生産が盛んで、古くから「東洋のデトロイト」と呼ばれ日本企業が集中している。 | 4. 内陸国としての地理的条件を活かし、中国との鉄道網整備を優先しているため、日本企業の進出数はASEANの中で最も少ない。 |
|---|--|--|--|
- 問5 アジア州の諸地域について、食料供給の統計において肉類と乳製品の2項目が突出して高く、野菜や魚介類の供給が著しく低い特徴を持つ国はどこですか。その国の地理的条件をふまえて選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 肥沃な平野で稲作が行われ、野菜の消費も多いベトナム | 2. 三方を海に囲まれ、魚介類の消費が多い大韓民国 | 3. 熱帯の島々からなり、米や魚介類を主食とするフィリピン | 4. 内陸の草原地帯で遊牧が盛んなモンゴル |
|------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-----------------------|
- 問6 世界の諸地域と資源・エネルギーの分布について述べた次の文のうち、インドにおけるサトウキビ生産の背景を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---------------------------------------|
| 1. 本初子午線付近の温暖湿潤な気候を利用して、古くから伝統的な農法で栽培されている。 | 2. 南半球に位置する利点を活かし、北半球の冬に合わせて輸出用として栽培されている。 | 3. 地中海性気候特有の夏の乾燥を利用して、大規模な灌漑施設で栽培されている。 | 4. 南アジア特有の高温多湿な気候と広大な耕作地を活かして栽培されている。 |
|---|--|---|---------------------------------------|
- 問7 特定の資源や農作物の輸出に依存する「モノカルチャー経済」が抱える課題について、経済的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 先進国からの投資が特定の工業製品に集中するため、原料となる農産物が不足する。 | 2. 国際価格の下落によって国家全体の収入が大きく変動し、経済が不安定になりやすい。 | 3. 国内の様々な産業がバランスよく成長するため、特定の品目の輸出を制限する必要が生じる。 | 4. 政府が全ての生産活動を管理するため、自由な企業活動が制限され経済が停滞する。 |
|---|--|---|---|
- 問8 1970年代後半から2017年までの主要国の工業統計において、中国の自動車生産台数は2000年まで50万台程度で推移していましたが、21世紀に入ると爆発的に増加し、2017年には2500万台を大きく超えて世界1位となりました。このように2000年と比較して生産台数が5倍以上に急増した主な背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 急速な経済成長に伴う国内需要の拡大と、外国企業の進出による生産拠点の整備が進んだため | 2. 第一次産業への労働力シフトを推奨したことで、農村部での自家用車普及が急速に進んだため | 3. 政府が自動車の輸出を禁止し、国内での自給自足体制を確立することに専念したため | 4. 石油危機の影響により先進国での生産が激減したため、代替の生産拠点として選ばれたため |
|---|---|---|--|
- 問9 2019年時点の世界の貿易統計において、輸出上位5品目に機械類のほか、ダイヤモンドや医薬品といった高度な加工を伴う工業製品、および石油製品が含まれている国として正しいものを次の中から選びなさい。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|------------|--------|
| 1. マレーシア | 2. 中国 | 3. サウジアラビア | 4. インド |
|----------|-------|------------|--------|
- 問10 インドネシアの産業構造や輸出に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 石炭などの地下資源や、アブラヤシから採れるパーム油などの一次産品が主要な輸出項目である。 | 2. 広大な国土を活かした小麦やトウモロコシなど、大規模な穀物農業が産業の中心である。 | 3. 冷涼な気候を利用した野菜や果実の栽培が盛んで、その輸出額が石炭を上回っている。 | 4. 航空機や人工衛星などの高度な精密機械が、輸出額の大部分を占めている。 |
|---|---|--|---------------------------------------|
- 問11 東南アジアに位置する島国の中で、国民の約8割以上がキリスト教のカトリックを信仰している国があります。かつてスペインの植民地支配を受けた歴史を背景に持つ、この国の名称を答えなさい。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-------|
| 1. マレーシア | 2. インドネシア | 3. フィリピン | 4. タイ |
|----------|-----------|----------|-------|
- 問12 タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジアの10カ国が加盟している組織の現状について、誤っている説明を選びなさい。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 資源開発や工業化を背景に急速な経済成長を遂げており、世界の成長センターの一つとして注目されている | 2. ヨーロッパ連合（EU）から全ての加盟国が離脱して移籍してきたことで、近年急速に加盟国数が増加した | 3. 東南アジア以外の国である日本や中国、韓国とも協力関係を築いており、首脳会議などの話し合いの場を持っている | 4. 域内での関税を原則として撤廃するなど、経済的な結びつきを強める「ASEAN経済共同体」を形成している |
|---|---|---|---|